

# 代表質問発言通告表

平成30年12月市議会定例会

順	会派及び質問者	質問事項	質問の要旨	答弁を 求める者
1	市政・公明クラブ 大山 正弘	1 定住促進について	<p>1 人口減少対策に特効薬はない 住み続けたい・住んでみたいと思うまちづくりに取り組むことが重要であり、特に若い世代には環境と景観に配慮するまちづくりが必要であると考え</p> <p>(1) よりよい生活空間を提供することを目的とした立地適正化計画策定の取り組み状況について</p> <p>(2) 楯岡高校跡地利活用を検討するワーキングチームの検討状況について</p> <p>(3) 定住を促進させる新たな支援策について</p> <p>(4) 単身赴任者の家族に対する支援について</p>	市長 関係課長
		2 産業振興について	<p>1 農業は本市の基盤産業であるが、今日、農業を取り巻く状況や環境が大きく変化しており、産業としての農業の時代に対する対応が求められている 市は産業としての農業の戦略を市民に対して示すことが重要と考える</p> <p>(1) 農業振興計画について</p>	
		3 観光交流について	<p>1 観光産業づくりを目指し、観光交流を育てていくには、観光交流による個々施策を連動する仕組みをつくり観光交流の再構築をはかるべきと考える</p> <p>(1) 観光振興の基本的計画について</p>	
		4 行財政改革について	<p>1 現在、行財政改革は平成 28 年度に策定した第 3 次村山市行財政改革プランに基づき不断の見直しを行っていると同っている</p> <p>(1) 平成 29 年度に行った見直しについて</p> <p>(2) 不断の見直しについて</p>	
		5 都市計画について	<p>1 市政の運営に計画は不可欠であり、人口や財政に余力があるうちに、見直しに着手すべきと考える</p> <p>(1) 本市の都市計画について</p> <p>(2) 計画変更について</p>	
		6 日常生活の向上について	<p>1 行政は、それぞれの地域の実情を踏まえながら行政サービス・生活利便・支援サービスを提供し、また、地域住民の安全、安心を確保しなければならないと考える</p> <p>(1) 将来にわたり、現在の行政サービスや生活利便を維持する拠点を地域に設ける取り組みについて</p>	

順	会派及び質問者	質問事項	質問の要旨	答弁を 求める者
2	改革クラブ 菊池 大二郎	1 子育て支援事業について 2 教育事業について 3 上下水道事業について 4 土地や空き家の利活用について 5 行政委員制度について 6 駅西開発事業について	1 隠れ待機児童の解消に向けて 2 学童保育の課題について 3 子育て世帯への支援策について ----- 1 児童生徒のメディアコントロールについて 2 児童生徒の「食事」「睡眠」等の健康生活習慣について ----- 1 上下水道経営戦略について 2 災害時の応急措置について ----- 1 所有者不明の土地、山林への対応について 2 空き家等の除却及び今後の空間利用の方針について ----- 1 行政連絡負担金の取扱いについて 2 行政区の見直しを含めた今後の行政委員制度について ----- 1 市有地利用に対する考え方について	市長 教育長 関係課長